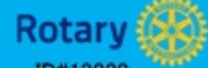




## 宇都宮ロータリークラブ会報



宇都宮ロータリークラブ 会長 岡崎善胤・幹事 熊本勇治 ID#13888  
テーマ「ロータリーは何をするか？」各々のロータリーの価値を行動しましょう！  
国際ロータリー会長 バリー・ラシン テーマ BE THE INSPIRATION  
国際ロータリー第2550地区 2018-19年度ガバナー 伊東永峯  
テーマ「ポールを語ろう…それは一人のインスピレーションから始まった」  
例会日 火曜日 12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町 5-12  
事務所 宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル2F Tel 028-666-0555  
E-mail [u-rc01@silver.plala.or.jp](mailto:u-rc01@silver.plala.or.jp) FAX 028-666-0333

(2019年) 平成31年2月5日 No 28 2018~2019年度 (第3277回会報)

会員数 103名 出席者数 66名 出席率 69.5%

### ビジター紹介 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

佐々木一隆様 (ゲストスピーカー) 木内裕祐様 (宇都宮西ロータリークラブ)

### 会長挨拶 (岡崎善胤会長)

皆様、例会にお集まり頂き有り難うございます。インフルエンザが流行しております。どうぞ、ご自愛ください。レターボックスに地区からのアンケート用紙を入れさせて頂きました。ロータリーの満足度についてのアンケートです。お帰りの時に、受付のテーブルに置いて頂ければと思います。ご協力をお願い致します。タイのパトムワンロータリークラブを訪問して参りました。後ほど、国際奉仕委員会より報告があります。現地のガバナーより「宇都宮ロータリークラブの皆様へ、くれぐれも宜しくお伝え下さい」と、言付けを預かってきました。タイでは消防自動車は高いので、これからも続けて頂けたらとお願いを受けました。本日も、宜しくお願い致します。

### 誕生祝 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

増田仲夫会員 栗飯原悟会員 菊野利幸会員 前田正典会員 林幹夫会員 小林健二会員

### 結婚祝 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

佐山良一会員 栗飯原悟会員 金山典生会員 青木直樹会員 関口快太郎会員 大塚秋二郎会員  
三柴富男会員 宮田初男会員

### 奥様誕生祝 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

青木慶子様 斎藤早智子様 木村正江様 増田有紀子様 秋本真由美様 和田悦子様 町田広美様  
草野信子様 西村紀子様

### 幹事報告 (熊本勇治幹事)

インフルエンザにかかってしまい、お休みを頂きました。本日の理事会承認事項です。会員数2月1日時点で103名です。協議事項としまして、会員満足度アンケートにご記入頂きまして、事務局にお渡しをお願い致します。

インターアクト委員会より、台湾研修の連絡が有りました。学生7名、随行者2名の参加です。予算ですが、全学生1万円、先生は全額クラブで負担@13万X2名で26万円負担を承認させて頂きました。ロータリーレート2月は、1ドル110円です。親睦活動委員会より「市内10RC親睦ゴルフ大会」の連絡が、この後報告されます。職業奉仕委員会より、先週市内の中学校で「職業人に学ぶ会」が開催されました。国際奉仕委員会では、消防自動車4台目が贈呈された報告がこれからあります。以上です。

### 職業奉仕委員会報告 (新井将能委員長)

先週木曜日、宮の原中学校で「職業人に学ぶ」を滞りなく済ませて来ました。運営にあたりました100

年委員会の皆様、講師を派遣して頂きましたロータリアンの皆様、本当に有り難うございました。次年度について、各学校から問合せがありました。このあたりの対応につきましては、職業奉仕委員会と100年委員会で相談させて頂き、次年度に上手く引継ぎが出来ればと考えております。以上です。

#### **国際奉仕委員会報告（毛塚武久委員長）**

消防自動車寄贈という事で、4台タイへ送ることが出来ました。最後の1台が1月25日現地での式に間に合ったという事です。寄贈した場所は、サトゥーン県です。タイの首都バンコクから3時間位離れた所になります。宇都宮からの消防自動車事業が一応終了しました。チャイワイさんとパストガバナーに同行して頂き無事終了しました。以上です。

#### **親睦活動委員会報告（明賀一博委員長）**

2月11日（月）祭日ですが、あんこう鍋のツアーが開催されます。ご参加されます会員様には、集合場所・行程等ファックスでご連絡をさせて頂きました。当日は、宜しくお願い致します。以上です。

#### **ニコニコボックス委員会（粟飯原悟副委員長）**

誕生祝：前田正典会員 小林健二会員 菊野利幸会員 毛塚武久会員

結婚祝：三柴富男会員 大塚秋二郎会員 宮田初男会員

快出席祝：田崎秀穂会員 熊本勇治会員

奥様誕生祝：木村正樹会員 増田仲夫会員 和田均会員 町田卓大会員 草野英二会員 西村拓浩会員  
金成倫会員

#### **プログラム紹介（プログラム委員長 岸本卓也委員長）**

本日の卓話は、宇都宮大学国際学部学部長の佐々木一隆様にお願いを致しました。演題は「ことばから見る多文化共生」です。佐々木先生は、東京都ご出身です。1983年東京学芸大学大学院修士課程を終了され、1987年宇都宮大学教養部講師、1991年助教授、2004年宇都宮大学国際学部教授、2017年4月より国際学部長を務められています。入管法の改正等、外国の方が沢山来られると思いますが、言葉の違い・文化の違い・多文化共生社会をどう築くのかという事で今大変問題になっています。それらについてのお話をお伺いしたいと思います。どうぞ、宜しくお願い致します。

#### **卓話「言葉から見える多文化共生」**

**宇都宮大学教授（国際学部）国際学部長 佐々木一隆様**

只今ご紹介を頂きました宇都宮大学国際学部教授そして国際学部長の佐々木一隆です。皆様の前でお話する事に、大変緊張しています。と同時に、この様な機会を与えて下さいまして大変有り難うございます。光栄に存じます。今日お話をするテーマは「ことばから見る多文化共生」という事で、お話をしていきます。国際学部が2年前に新しくなりました。色々な文化を持った人達、民族・文化習慣の違いを持った人達が共に生きてゆく事、これを学問的に検討していこうというのが国際学部です。3つの観点から、お話をさせて頂きます。

1つ目は、多文化共生をどうとらえるか？昨年10月に下野新聞社で出版された観点から1つ。2つ目は、日本ビジネスにおける修士課程の学生が書いた修士論文のテーマです。これを少し使って多文化共生についてお話を出来たらと思います。3つ目は「日本在住のベトナムの子供に対するベトナムの教育」というものです。これらのテーマを使って、お話をさせて頂きます。多文化共生を理解し、実践をしていくと紛争等は回避・緩和されるのではないのか？そして、平和につながってゆくのではないのか？という論法です。こちらが出版させて頂いた「多文化共生をどうとらえるか」という本です。国際学部と国際交流センターの教員が結集して書いたエッセイ集です。「多文化共生を各最適に考える事、もう一つは国際的

に考える」という事です。多文化共生を国際的に考えるというのが、主となっています。もう一つは国際的に考えるということで、具体的な事項を書いておきました。言語とか経済・環境・開発・政治・文化に関してです。欧米・アフリカ・中東アジア・環太平洋・そして日本に対応出来る教員が国際学部や国際交流センターにいます。それぞれの教員が持味を活かして、作成しました。キーワードとして多文化共生があり、それを考えるのには学問が必要です。地域と密接に関わるグローバル化が関係してきます。多様多数派に対して、少数派があります。その少数派に光りを当てる事が重要な点です。多文化共生は、広がりを持っています。多文化共生に関する様々なシンポジウムが、様々な場所で開催されています。多文化共生社会について、2月14日に国際学部でシンポジウムを開催します。私は元々言語学・言語を中心として研究をしています。その関係が大きな糧となって、11月の特別シンポジウムのテーマは、異文化理解と多文化共生としました。2年前に奨学生に声をかけられて中国の浙江省のある大学へ行ってきました。その時の講座のテーマが「アジアの多文化共生と平和」でした。

ここからは、30を超えるエッセイや、私が書いたエッセイ等を紹介します。本が出版されたのは、昨年のことです。3年前の2015年11月、本県の高等学校教員を対象に行った講演がありました。その時のテーマは「国際理解における言語活動の諸相、第二言語・国際語としての英語の視点から」でした。これは新書の中でも掲載されています。私は英語をやっている人間ですので、英語的にみて、その中にとどまらない部分を明確にするというのが主旨です。

次に言語比較です。スライドをご覧ください。これは、先日審査が終わったばかりの今年度の男子学生が書いた修士論文です。題目は「日中ビジネスにおける言語比較」です。副題は、「望ましいコミュニケーションに向けて」です。この論文の研究目的はどの様な事か？日中ビジネスの場におけるコミュニケーションを行う際、具体的にどの様な問題があるのか？その問題点を改善する為にどの様な対策を取れば良いのか？を検討する事が論文の内容となります。この方は、日本に10年近く住んでおり、日本語は非常に堪能です。研究方法は、アンケート調査とインタビューを実施しました。この修士論文の興味深いところは、日本と中国の日中異文化コミュニケーションです。中国の人は中日と書かれますが、この方は日中と書きました。かなりの親日家です。日中異文化コミュニケーションを2つの側面から分析しています。1つは非言語、もう1つは言語の面です。大半は非言語です。顔の表情とか身振り手振りでコミュニケーションが取れると言われていました。逆に言語の面は、それほど高く無いと言われていたのですが、この方は、言語こそが重要だという視点にたって論じています。日本企業で働く中国人・労働者が対象です。20代・30代の人を対象に調査をしたとのこと。アンケートの調査がこちらです。題目は会社での損失です。言語の面と言語以外の面で、それぞれのストレスを聞いてみたとのこと。将来の仕事として、この企業でずっと働くか？それとも転職するか？という項目がありました。又取引先への連絡方法等についてもヒアリングしています。会議の打合せ・上司への報告・同僚への報告等、様々な場面で言語を上手く伝えているか？アンケートを取ったとのこと。かなり言語的なところで外国の方が非常に困っている結果が出てきたということです。電話対応が難しい、音声のみで顔が見えず難しい、取引先とのやり取りが難しい、敬語の使用に自信が無い、文化習慣の違いが難しい、日本の人は細かい等意見がありました。

次に日本在住のベトナムの方が昨年提出された博士論文で、「日本在住ベトナム人の子供に対するベトナムの教育の可能性」を紹介します。この方は見事博士号を取得し、今ベトナムのハノイにある国家大学で日本語講師をされています。副題は「家庭を中心としたバイリンガル教育の視点から」です。これは家庭を中心に学校と地域の連携を視野に入れたベトナム語と日本語のバイリンガル教育の視点から、日本在住のベトナムの方の子供に対するベトナム教育の実態を中心に分析をすることが目的でした。主張点は、ここは日本ですので在住のベトナムの方は日本語を使用する状況は変わりません。多文化環境が進行している日本において、マイノリティー・少数派言語の1つであるベトナム語をどの様にして保持・

発展出来るかという課題を家庭・学校・地域との連携に求めているということです。マイノリティーのベトナム語をマジョリティー言語の日本語を使って、バイリンガルを育て多文化共生社会の進展に寄与するかという課題を提供しています。こうした教育を効果的にする為には、バイリンガルに対する保護者の意識向上に加え言語構造・文化背景に対する相違点が講師や保護者に求められるということを主張しています。ベトナムの方が集中する地域、地域のベトナム語教育、家庭でのベトナム語教育と保護者の意識、ベトナムの子供の会話力と読書力の測定に関する各調査を行なっています。その点が高く評価されたということです。特に小規模ベトナム教室で行なった講師と保護者のインタビューは専攻研究には無いものであり、保護者へのアンケート聞き取り調査を通じて、家庭でのベトナム教育の実態及び保護者の意識を明らかにした点も重要でした。資料も入れますと 300 ページ近くありました。その「第 3 章 日本の公立学校におけるベトナム教育の実態」ということで調査する町を探したそうです。これを見て頂けると分ると思いますが、関西地方が多いです。家庭数で言いますと 183 件を調査したとのこと。内 24 家庭に聞き取り調査を行なったそうです。第 6 章では、会話力と読書力を使ってアンケートを取ったとのこと。読書行動・読解力・読書習慣の 3 点で読書力を調査したとのこと。日本語による会話力及び読解力は全員が年齢レベルに達していましたが、ベトナム語の言語能力は個人差が大きかったようです。日本で生活をしており、日本語が母国語になる為、いたしかた無いことと思います。 24 家庭の内、上手くいったのは 4 組でした。多文化共生が進む地域社会ですが、2 つの言葉のバランスが良ければ良いのですが、上手くゆかなければ親との関係や情緒が不安定になり、アイデンティティが揺れる可能性が生じる難しい部分も有ります。こう見てゆきますと、バイリンガル教育は、2 言語を流暢に話せる人を養成するのでは無く、子供達の健全な発達に必要であることが分ってきます。人格形成にも意味があるということです。これはかなり重要です。

国際学部付属の多文化公共圏センター (CMPS) では、外国人指導制度推薦協議会を行なっています。教育と研究の接点にあって、2 種類のグローバル化 (地域におけるグローバル化と地域から外へのグローバル化) に対応・関連するプロジェクト・セミナー・シンポジウムを行なっています。外国につながるのある生徒・児童への支援というのは、少数派の人達を押してゆくべきです。又日本における母国語と日本語の関係、進学問題・大学入試が課題となります。国際学部では外国人生徒の入試が 4 回あります。健全なバイリンガル教育は、国内外で広がりが見られます。今年 31 年度の試験が行なわれ、実績が又少し増えました。以上です。

有り難うございました。

---

## 【2 月卓話】

2 月 5 日 (火) 「ことばから見る多文化共生」

佐々木一隆様 宇都宮大学教授 (国際学部) 国際学部長

2 月 11 日 (火) 休会

2 月 19 日 (火) 映画鑑賞例会

2 月 26 日 (火) 未定

熊倉百合子様 JICA 国際協力推進員

---

＝当日の食事＝

松花堂弁当

五目ごはん 香の物 赤出汁

お造り (バチマグロ・甘海老・カンパチ)

煮物 (大根・とり団子・海老・サヤ)

焼き物八寸・玉子焼・サーモンの西京焼・梅きびなご・ささみチーズ  
海鮮ミニ春巻・ひじき・ポテトサラダ)

会報担当：池田 剛 会員

画像担当：菅谷 隆臣 会員